



枚方市におけるひきこもり等の子ども・若者支援について
令和4年度の活動報告



枚方市子どもの育ち見守り室

となとな

(子ども相談課)



目 次

【 1 】 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	
1. 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	1 p
2. 場所	1 p
3. 相談体制	1 p
4. 相談支援件数	2 p
5. 居場所支援	7 p
6. 家族の会	8 p
【 2 】 市民啓発等	
1. 子ども・若者支援のための市民講座	9 p
2. ひきこもり U X ラウンジ in 枚方&泉佐野	9 p
3. 地域資源ブックマークの作成	10 p
4. ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを 利用されている方へのアンケート調査	10 p
5. 職員による出前講座等	10 p
【 3 】 枚方市子ども・若者支援地域協議会	
1. 令和 4 年度の活動状況	11 p
2. 実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）の実施状況	14 p
[資料 1]	「ひらぼう」第41報、第42報
[資料 2]	「子ども・若者支援のための市民講座」チラシ
[資料 3]	「ひきこもり U X ラウンジ in 枚方&泉佐野」チラシ
[資料 4]	「地域資源ブックマーク大阪・北河内エリア版」
[資料 5]	「枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱」

【1】枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

1. 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

枚方市では、平成 25 年 4 月に「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を設置し、15 歳からおおむね 39 歳までの不登校、ひきこもり、ニート等に関する相談を受けし、継続して対応方法や支援を考えています。必要に応じて、より適した支援機関等にもおつなぎします。次のステップとしての居場所支援や、家族の会を行っています。

2. 場所

枚方市子どもの育ち見守り室となとな・子ども相談課内に専用の窓口を設置しています。専用の相談室が 2 部屋あります。

住所：〒573-0032 枚方市岡東町 12-3-410 サンプラザ 3 号館 4 階



3. 相談体制

相談には、電話相談と面接相談があります（専用電話設置）。面接相談は事前に予約をお願いしています。

窓口には、臨床心理士や社会福祉士等の資格を有する職員を配置し、関係機関と連携しながら対応しています。

また、職員のスキルアップのため、各種研修への参加等を継続して行いました。

4. 相談支援件数

< 延べ件数 >

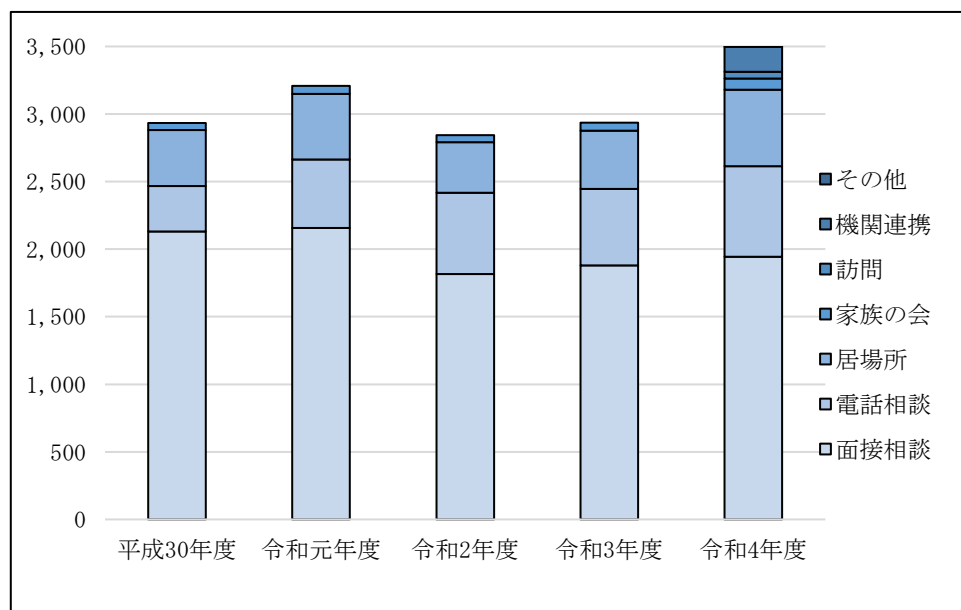
○相談支援件数

令和4年度の延べ相談支援件数は3,507件でした。内訳は面接相談が1,944件、電話相談が671件、居場所支援が564件、家族の会が85件、訪問が49件、機関連携が185件、その他9件でした。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
面接相談	2,131	2,158	1,817	1,881	1,944
電話相談	335	505	601	565	671
居場所支援	415	487	373	430	564
家族の会	53	59	52	59	85
訪問	(90)	(73)	(66)	(53)	49
機関連携	(193)	(288)	(139)	(142)	185
その他	—	—	—	—	9
計(件・延べ)	2,934	3,209	2,843	2,935	3,507

※令和3年度以前の（ ）内の数は上記の項目に含めていたが、令和4年度より訪問・機関連携・その他を抜き出してカウントすることとした。。

相談件数の推移



○訪問支援

継続相談の中で、必要に応じて訪問支援を行いました。家庭訪問が 37 件、ご本人やご家族と一緒に各窓口に同行する同行訪問は 12 件でした。

（同行訪問先）

就労支援機関、障害福祉関係機関、市役所各窓口、居場所支援「ひらぼ」など（多い順に抜粋）。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
家庭訪問	68	53	52	40	37
同行訪問	22	20	14	13	12
計(件・延べ)	90	73	66	53	49

○機関連携

ご本人やご家族の了承のもと、他機関に紹介するための事前連絡や、状況の共有、支援のための協議など、機関との連携を行いました。

（連携機関）

障害福祉関係機関、市役所各窓口（健康福祉総合相談課、生活福祉課、保健所（保健医療課）、子ども支援課など）、就労支援機関、医療機関、地域包括支援センターなど（多い順に抜粋）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
機関連携(件・延べ)	193	288	139	142	185

<実相談ケース数>

令和４年度の実相談ケース数が 262 件、そのうち新規相談が 87 件でした。

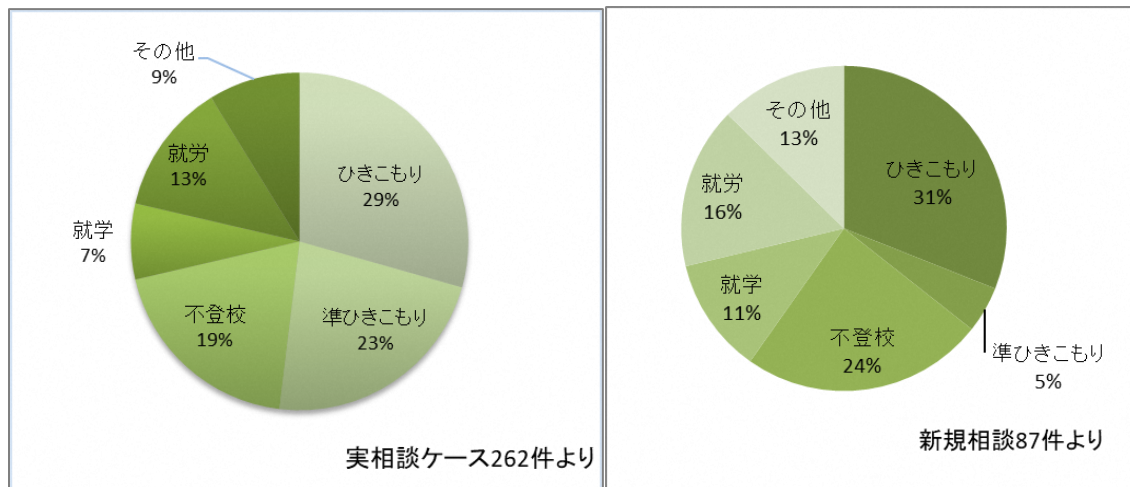
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
実相談（件）	247	300	249	246	262
新規相談（件）	122	152	72	82	87

○相談内容

相談内容は、ひきこもりと準ひきこもりについての相談が合わせて 52%、次に不登校の相談が 19%、就労についての相談が 13%でした。

そのうち、新規相談の相談内容の内訳については、ひきこもりと準ひきこもりについての相談が合わせて 36%、不登校の相談が 24%、就労の相談が 16%でした。

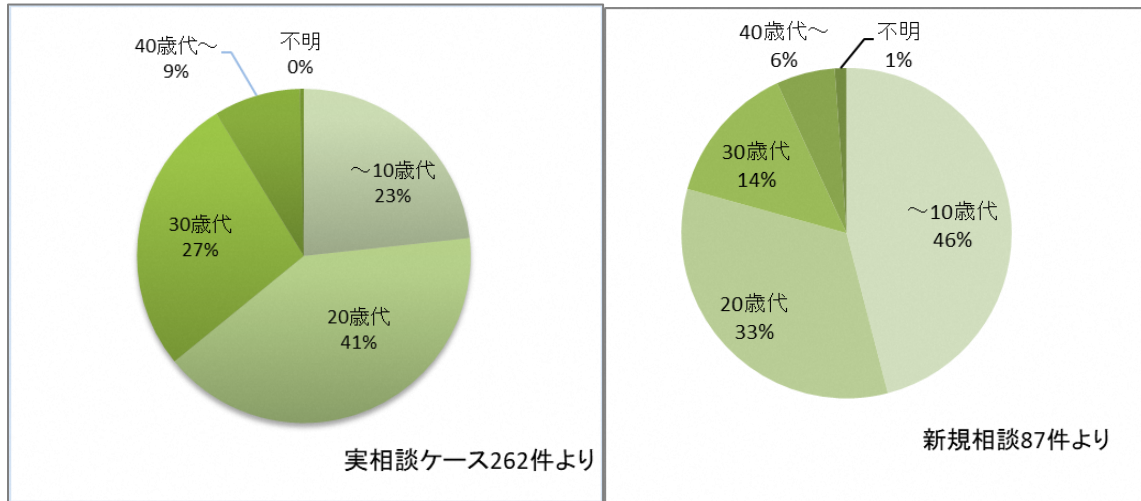
ひきこもり 自室からほとんど出ない、自室からは出るが家から出ない。
 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける。
 準ひきこもり ふだんは家にいるが自分の趣味に関する用事の時だけ外出する。



○相談対象者の年代

相談対象者の年代は、20代の相談が41%と一番多く、次に30代、10代の相談と続きます。また、一定数、40代以上の方の相談もあるという現状です。

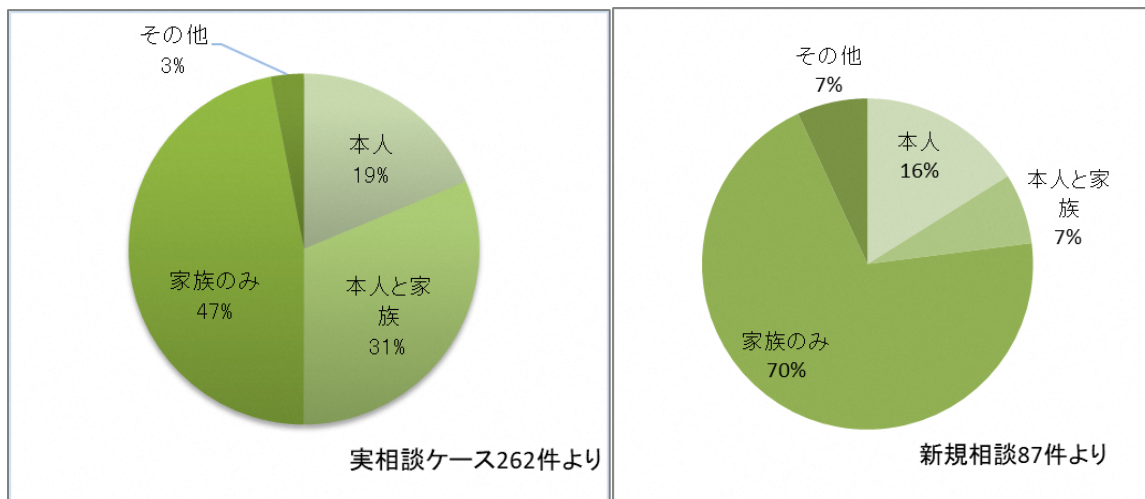
そのうち、新規相談の内訳については、10代の相談が46%と一番多く、続いて、20代となっています。



○相談者

相談者については、本人、もしくは本人と家族から相談をお受けしているケースがあわせて、50%、家族からのご相談が47%でした。

そのうち、新規相談の初回相談者については、本人、もしくは本人と家族からの相談が23%、家族からの相談が70%でした。初回相談の多くは、家族からの相談でした。



○性別

新規相談の相談対象者の性別については、男性が 66.7%、女性が 25.3%でした。

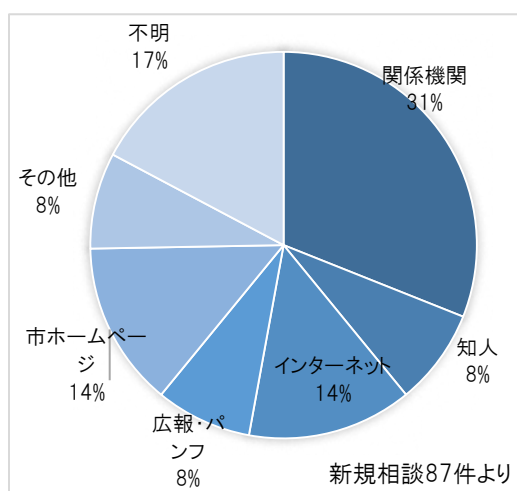
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男性	87 (71.3%)	97 (63.8%)	50 (69.4%)	51 (62.2%)	58 (66.7%)
女性	34 (27.9%)	51 (33.6%)	22 (30.6%)	28 (34.1%)	22 (25.3%)
不明	1 (0.8%)	4 (2.6%)	0 (0%)	3 (3.7%)	7 (8.0%)
計 (件)	122	152	72	82	87

○相談経路

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを知ったきっかけは、関係機関からの紹介が 31%と一番多く、次いで、市ホームページ、インターネットなど、知人からの紹介、広報・パンフレット、となっています。

(関係機関)

市役所各窓口(家庭児童相談、健康福祉総合相談、子ども発達支援センターなど)、障害福祉関係機関など(多い順に抜粋)。



○居住地

対象は市内在住の方ですが、市外からの相談もありました。一旦お聴きして、他市で利用できる相談窓口の情報提供を行っています。

市内	市外	不明	計 (件)
77 (88.5%)	5 (5.7%)	5 (5.7%)	87

○コロナ禍における相談支援の状況○

令和4年度は、通常の生活に戻る兆しが見える中、直接会う形でつながることを試みた一年間でした。延べ相談支援件数の増加率が、コロナ前の水準まで戻ってきたことを踏まえ、これまでの継続してきた支援について途切れることなく適切な支援が行えるよう、相談者がつながり続けられる場を維持することに努めました。また、コロナ禍による生活様式の変化など、ひきこもりの要因や背景はより複雑化しているため、必要な支援が適切に実施できるよう、関係機関と連携を密にするなど重層的な支援に努めました。

5. 居場所支援

ひきこもり等の子ども・若者が社会に参加するきっかけとするためのスモールステップとして、平成26年度より枚方公園青少年センター等を活用し、居場所支援事業「ひらぼ」を実施しています。相談員との個別面接の次のステップとして4、5人の若者がスタッフと一緒にさまざまな活動を体験する中で、社会とのつながりを築いていくことを目指しています。実際の活動においては、専門のコーディネーターを配置し、「サポートフレンド養成講座」を受講したサポートフレンド※1（登録者33名）の協力を得て、創作、ゲーム、屋外活動を行いました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しつつ、一年を通して対面で開催し、様々な活動の再開に努めました。

居場所支援事業「ひらぼ」の活動を中心に、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みを広報する通信「ひらぼう」※2〔資料1〕を令和4年度は2回発行しました。若者が記事を企画、執筆するなど、作成に参加しました。

居場所支援事業と並行して、個別の面接相談も継続し、ひとりひとりに合った支援を行っています。

令和4年度は、毎週水曜日と、他の曜日に月2、3回開催し、計93回、参加延べ人数は564人でした（実人数26人／令和3年度は22人、令和2年度は19人、令和元年度は30人、）。初の取り組みとして、11月と3月に、就職したひらぼ卒業生も含む、30歳以上の方を対象として午後6時からの「夜ひらぼ」を開催しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所回数	8	7	9	8	6	8	8	9	7	5	8	10	93回
参加のべ人数	52	50	64	44	39	44	51	52	36	28	43	61	564人

またサポートフレンドを対象に、研修会を実施し、居場所活動についての情報共有や居場所活動での支援内容の検討を行いました。

※1 サポートフレンド

サポートフレンドとは、サポートフレンド養成講座を受講し、地域の中で、不登校やひきこもりなど、さまざまな生きづらさを感じている子ども・若者の理解者となる存在です。サポートフレンドの活動のひとつとして、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターのイベントや居場所支援「ひらぼ」の活動に協力してもらっています。

※2 ひらぼう

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みについて、具体的に知っていただくため、センターや居場所の活動、居場所に参加する若者からのメッセージを紹介しています。市のホームページに掲載し、関係機関にも配布しています。

6. 家族の会

月に一回、相談支援センターの相談者を対象に同じ悩みを持つ家族の相互理解や交流を目的として、家族の会を開催しました。

令和4年度は実施が11回、参加延べ人数は85人でした。

テーマ

4月	家族の会が楽しくなる！？－家族の会の楽しみ方を先輩に聞く－
5月	居場所支援事業「ひらば」を知る。
6月	障害福祉サービスの利用方法を知る
7月	8050問題 親がひきこもりの子にできること
9月	北河内地域若者サポートステーションについて
10月	餃子を作って、一緒に食べる
11月	お片付けのコツにまつわるお話
12月	精神科医療に関するお話
1月	家族の中での父の関わり＆役割について
2月	子ども若者相談支援センターが行ったアンケート結果を読み解く
3月	経済的なセーフティネットの話－生活保護制度を中心に－

- ・開催日時は毎月第3金曜日午後2時から4時
- ・8月は休み

【2】市民啓発等

1. 子ども・若者支援のための市民講座

『ひきこもりを経験した若者の声』

[資料2]

ひきこもりや不登校等、さまざまな生きづらさを感じている子ども・若者の現状や自立に向けた取り組みについて、市民の皆様により広く、深く知っていただくために市民講座を開催しています。

令和4年度は、当事者からのメッセージをテーマに、若者ご本人より、これまでの体験やその時感じていたことなどをインタビュー形式にて講演いただきました。

また、会場にお越しいただくことが難しい方に向けて動画配信（オンデマンド）も実施しました。

日時：（会場開催）令和4年12月2日 14:00～16:00
（動画配信）令和4年12月16日～令和5年1月16日

場所：ラポールひらかた 大研修室

講師：特定非営利活動法人青少年自立支援施設 淡路プラッツのみなさん
インタビュアー：浅井 紀久子 さん

参加者：（会場）25名 動画申込：62名 動画視聴回数：111回

2. ひきこもりUXラウンジ in 枚方&泉佐野

[資料3]

ひきこもり状態であったり、対人関係に難しさを感じているなど、さまざまな生きづらさを抱えている方を対象に、安心して交流できる機会として、当事者会を開催しました。枚方市及び泉佐野市で開催し、枚方会場では以下のとおり実施しました。

日時：令和5年1月18日（水）

場所：ラポールひらかた 大研修室

第一部 ひきこもり経験者による体験談

講師：（一社）ひきこもりUX会議

第二部 対話交流セッション

「ひきこもり当事者会」：ひきこもり等の当事者・経験者

「ひきこもり女子会」：女性（自認含む）の方でひきこもり等の
当事者・経験者

「つながる待合室」：ひきこもり状態のご家族がいる方、支援者、その他

参加者：第一部 52人

第二部 46人（つながる待合室31人、当事者会6人、女子会9人）

3. 地域資源ブックマークの作成

[資料 4]

枚方市を含む北河内地域のひきこもりや不登校などの相談窓口の情報を掲載した「地域資源ブックマーク大阪・北河内エリア版」（一般社団法人ひきこもりUX会議発行）の作成協力を行い、当事者、家族、支援者同士の対話交流イベント「ひきこもりUXラウンジin枚方」で配布するとともに、市内大学、高等学校を含む各関係機関にも情報発信を行いました。



4. ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを利用されている方へのアンケート調査

当事者の実情や思いを理解することを目的にアンケート調査を実施しました。結果は、枚方市子ども・若者育成計画＜第2期＞の資料として活用するとともに、関係機関への配布、市ホームページへの掲載を通して、子ども・若者に対する理解を広げることに取り組みました。



5. 職員による出前講座等

文化生涯学習課で実施している「職員による出前講座」に「若者の置かれている現状—ひきこもり・ニートを中心に—」をメニューとして上げています。令和4年度は、1件の申し込みがあり実施しました。また、市民や支援者を対象とした団体等からも依頼があり、市の取り組みの報告や講座を実施しました。

①『枚方市こころの電話相談ボランティア』養成講座

団体名：枚方市こころの電話相談室

日 時：令和4年10月15日

場 所：ラポールひらかた

テーマ：ひきこもり等における枚方市の取り組み、相談を聴くときの心構え

対 象：枚方市こころの電話相談室 電話相談ボランティア希望者

②職員による出前講座「なんでも、どこでも出前塾」

団体名：グリーンコープ生協おおさか

日 時：令和5年1月27日

場 所：げんきくんのお店 枚方駅前店

テーマ：若者の置かれている現状

対 象：市内組合員及びお知り合い10名

【3】枚方市子ども・若者支援地域協議会

1. 令和4年度の活動状況

[資料5]

ひきこもりやニート、不登校などの相談機関・関係機関のネットワーク構築のため、平成24年6月より枚方市内で活動している各関係機関に呼びかけて、枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議を設置しました。平成30年3月には、同ネットワーク会議を、子ども・若者育成支援推進法に基づく「枚方市子ども・若者支援地域協議会」に位置づけ、各機関等が顔の見える関係を築くとともに、さまざまな状況のひきこもり等の子ども・若者に対し、切れ目のない適切な支援が行える体制作りをめざしています。

令和4年度は、偶数月に実務者会議を開催しました。また、関係機関同士の更なる連携強化といった観点から、2月に代表者会議・実務者会議合同研修会を開催しました。

○令和4年度枚方市子ども・若者支援地域協議会

代表者会議・実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）

実施日	内 容
第1回実務者会議 4月21日	・枚方市子ども・若者支援地域協議会 実務者会議について ・各機関からの自己紹介 ・昨年度の振り返りと今年度の実務者会議について
第2回実務者会議 6月11日	・「子ども・若者育成計画」を通して学ぶ(1) 「子ども・若者育成計画<改訂版>」の内容について
第3回実務者会議 8月25日	・「子ども・若者育成計画」を通して学ぶ(2) ・3テーマに分かれたグループ検討 ① 支援情報や社会資源をどう届けて、どうつながってもらうか ② 就労、就職に向けた取り組み ③ 地域社会のつながりの中でできること ※「子ども・若者育成計画<第2期>」に向けた意見の取りまとめ
第4回実務者会議 10月20日	・(仮称)枚方版支援ハンドブックの作成について(1) ・2テーマに分かれてのグループ検討 ①生活において必要なこと、不安なこと ②こんなことを相談できる場所があったら良いと思うこと
第5回実務者会議 12月22日	・(仮称)枚方版支援ハンドブックの作成について(2) ・10月の会議で出た意見の振り返り ・意見集約のためのグループワーク
代表者会議 第6回実務者会議 2月9日	枚方市子ども・若者支援地域協議会「合同研修会」 ・「経験者から学ぶ～不登校・ヤングケアラーの当事者より～」 『不登校から支援者という選択、そして課題』 心の居場所懇談 清水 悠佑 氏 『ヤングケアラーが「いきる」社会へ』 NPO 法人「ふうせんの会」 常務理事 朝田 健太 氏

※全体会議の前月に、次回の内容を検討する世話人会議を開催。

【代表者会議 構成機関】

(令和 5 年 3 月時点)

- ・ 枚方市 子ども未来部 子どもの育ち見守り室
 - ・ 枚方市 観光にぎわい部 商工振興課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 健康福祉政策課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 健康寿命推進室 母子保健課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 健康福祉総合相談課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 障害支援課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 生活福祉課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 保健所 保健医療課
 - ・ 枚方市 子ども未来部 子ども青少年政策課
 - ・ 枚方市 教育委員会事務局 学校教育部 教育支援室 児童生徒支援課
 - ・ 枚方公共職業安定所
 - ・ 大阪府中央子ども家庭センター
 - ・ 大阪府枚方警察署
 - ・ 大阪府交野警察署
 - ・ 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
 - ・ 一般社団法人枚方市医師会
 - ・ 枚方市民生委員児童委員協議会
 - ・ 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
 - ・ 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会
 - ・ 枚方・交野地区保護司会
 - ・ 枚方市青少年育成指導員連絡協議会
 - ・ 枚方市 子ども未来部 子どもの育ち見守り室 子ども相談課
- 【子ども・若者支援調整機関（事務局）】

【実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）案内送付機関】

（令和5年3月時点、33機関・34窓口）

- ・ 枚方公共職業安定所
 - ・ 大阪府中央子ども家庭センター
 - ・ 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
 - ・ 枚方市民生委員児童委員協議会
 - ・ NPO 法人枚方人権まちづくり協会
枚方市地域就労支援センター
 - ・ 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
枚方市いきいきネット相談支援センター
 - ・ 一般社団法人ステップフォワード
北河内地域若者サポートステーション
枚方市就労準備支援事業担当
 - ・ 三島地域若者サポートステーション
 - ・ OSAKA しごとフィールド（JOB カフェコーナー）
 - ・ 枚方市障害者自立支援協議会幹事会
 - ・ 枚方市障害者就業・生活支援センター
 - ・ L I T A L I C O ワークス枚方
 - ・ d-career（枚方駅前オフィス）
 - ・ 訪問看護ステーション デューン京阪
 - ・ 特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター
 - ・ 大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程）
 - ・ 大阪府立大手前高等学校（定時制の課程）
 - ・ 長尾谷高等学校
 - ・ 近畿情報高等専修学校
 - ・ あおい教育支援グループ
 - ・ 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会
 - ・ 株式会社京阪毎日舎
 - ・ 大阪府中小企業家同友会・枚方寝屋川交野支部
 - ・ 枚方市 観光にぎわい部 商工振興課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 健康寿命推進室 母子保健課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 健康福祉総合相談課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 障害支援課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 生活福祉課
 - ・ 枚方市 健康福祉部 保健所 保健医療課
 - ・ 枚方市 子ども未来部 子ども青少年政策課
 - ・ 枚方市 子ども未来部 枚方公園青少年センター
 - ・ 枚方市教育委員会事務局 学校教育部 教育支援室 児童生徒支援課
 - ・ 枚方市 子ども未来部 子どもの育ち見守り室 子ども相談課
- （ひきこもり等子ども・若者相談支援センター） 【子ども・若者支援調整機関（事務局）】

2.実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）の実施状況

会議の名称	令和4年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議(4月)＞	
開催日時	令和4年4月21日(木)	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた 大研修室	
出席者	枚方公共職業安定所:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 (特非)人権まちづくり協会 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会 枚方市いきいきネット相談支援センター:1人 (一社)ステップフォワード:1人 北河内地域若者サポートステーション:1人 OSAKAしごとフィールド (JOBカフェコーナー):2人 枚方市障害者就業・生活支援センター:1人 LITALICOワークス枚方:1人 d-career(枚方駅前オフィス):1人 (特活)ひらかた市民活動支援センター:1人	大阪府立寝屋川高等学校:1人 長尾谷高等学校:1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 健康寿命推進室 母子保健課:1人 福祉事務所 健康福祉総合相談課:1人 生活福祉課:1人 保健所 保健医療課:1人 教育支援室 児童生徒支援課:1人 子どもの育ち見守り室 子ども相談課:6人 計28人
＜内容＞ ・各機関からの自己紹介 ・昨年度の振り返りと今年度の実務者会議について事前アンケートを元に各機関の意見を共有。		

会議の名称	令和4年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議(6月)＞	
開催日時	令和4年6月16日(木)	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた 研修室1	
出席者	枚方公共職業安定所:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 (特非)人権まちづくり協会 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会 枚方市いきいきネット相談支援センター:1人 (一社)ステップフォワード:1人 北河内地域若者サポートステーション:1人 枚方市障害者就業・生活支援センター:1人 d-career(枚方駅前オフィス):1人 (特活)ひらかた市民活動支援センター:1人 大阪府立大手前高等学校:1人 長尾谷高等学校:1人	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 健康寿命推進室 母子保健課:1人 福祉事務所 障害支援課:1人 保健所 保健医療課:1人 子ども青少年政策課:1人 枚方公園青少年センター:1人 教育支援室 児童生徒支援課:1人 子どもの育ち見守り室 子ども相談課:6人 計26人
＜内容＞ ・「子ども・若者育成計画」第2版(平成30年度発行)について、概要の確認と、社会福祉における自立概念についての確認 ・6つのグループに分かれて、「子ども・若者育成計画」についての意見交換		

会議の名称	令和4年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議(8月)＞	
開催日時	令和4年8月25日(木)	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた 大研修室	
出席者	枚方公共職業安定所:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 (特非)人権まちづくり協会 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会 枚方市いきいきネット相談支援センター:1人 北河内地域若者サポートステーション:1人 枚方市障害者就業・生活支援センター:1人 LITALICOワークス枚方:1人 d-career(枚方駅前オフィス):1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人	(株)京阪毎日舎:1人 健康寿命推進室 母子保健課:1人 福祉事務所 障害支援課:1人 子ども青少年政策課:1人 枚方公園青少年センター:1人 教育支援室 児童生徒支援課:1人 子どもの育ち見守り室 子ども相談課:6人 計22人
＜内容＞ 子ども・若者育成計画改訂に向けた意見をとりまとめるため、 ① 支援情報や社会資源をどう届けて、どうつながってもらうか、② 就労、就職に向けた取り組み、③ 地域社会のつながりの中でできること、の3テーマに分かれた話し合いを行った。		

会議の名称	令和4年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議(10月)＞	
開催日時	令和4年10月20日(木)	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた 大研修室	
出席者	枚方公共職業安定所:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 (特活)人権まちづくり協会 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会 枚方市いきいきネット相談支援センター:1人 (一社)ステップフワード 北河内地域若者サポートステーション:1人 枚方市就労準備支援事業担当:1人 LITALICOワークス枚方:2人 (特活)ひらかた市民活動支援センター:1人	大阪府立大手前高校:1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 健康寿命推進室 母子保健課:1人 福祉事務所 障害支援課:1人 保健所 保健医療課:1人 教育支援室 児童生徒支援課:1人 子どもの育ち見守り室 子ども相談課:4人 計21人
＜内容＞ 「枚方版支援ハンドブック(仮称)」作成に向け、 ①「生活において必要なこと、不安なこと」、②「こんなことを相談できる場所があったら良いなと思うこと」の2テーマに分かれた話し合いを行った。		

会議の名称	令和4年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議（12月）＞	
開催日時	令和4年12月22日（木）	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた 大研修室	
出席者	枚方公共職業安定所：1人 大阪精神医療センター：1人 枚方市民生委員児童委員協議会：1人 （特活）人権まちづくり協会 枚方市地域就労支援センター：1人 （一社）ステップフオワード 北河内地域若者サポートステーション：1人 枚方市就労準備支援事業担当：1人 LITALICOワークス枚方：1人 LITALICOワークス枚方第2：1人 （特活）ひらかた市民活動支援センター：1人	大阪府立大手前高校：1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会：1人 （株）京阪毎日舎：1人 健康寿命推進室 母子保健課：1人 福祉事務所 障害支援課：1人 生活福祉課：2人 保健所 保健医療課：1人 子ども青少年政策課：1人 枚方公園青少年センター：1人 子どもの育ち見守り室 子ども相談課：4人 計23人
＜内容＞ 「枚方版支援ハンドブック（仮称）」作成に向け、8月の実務者会議にて出た意見をライフサイクルの視点で整理するための話し合いを行った。		

会議の名称	令和4年度枚方市子ども・若者支援地域協議会＜全体会議（2月）＞	
開催日時	令和5年2月9日（木）	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた 大研修室	
出席者 （実務者）	枚方公共職業安定所：1人 大阪精神医療センター：1人 （特活）人権まちづくり協会 枚方市地域就労支援センター：1人 枚方市社会福祉協議会 枚方市いきいきネット相談支援センター：1人 （一社）ステップフオワード 北河内地域若者サポートステーション：1人 枚方市就労準備支援事業担当：1人 枚方市障害者就業・生活支援センター：1人 LITALICOワークス枚方：1人 LITALICOワークス枚方第2：1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会：1人 （株）京阪毎日舎：1人 OSAKAしごとフィールド：1人	長尾谷高校：1人 健康寿命推進室 母子保健課：1人 福祉事務所 障害支援課：1人 生活福祉課：1人 枚方公園青少年センター：1人 教育支援室 児童生徒支援課：1人 子どもの育ち見守り室 子ども相談課：4人 計22人
＜内容＞ 代表者会議・実務者会議合同研修会 「経験者から学ぶ～不登校・ヤングケアラーの当事者より～」をテーマに講演を実施。 『不登校から支援者という選択、そして課題』 心の居場所懇談 清水 悠佑 氏 『ヤングケアラーが「いきる」社会へ』 NPO法人「ふうせんの会」 常務理事 朝田 健太 氏		

資料

With / ひらぼの梅・桜の花見散歩
すごろくパーティー
あじのさばき体験

the Arrival of
Spring 春の訪れ

2022年6月号
ひらぼう
第41報

FREE



特集：春開催したイベント集！

梅・桜の花見散歩

山田池公園で梅と、
水面街道で満開の桜を
綺麗な写真でお届け！

すごろくパーティー

エアサライコロと自作のすごろく
パーティーの様子や遊びの内
容をお伝え！

アジをさばいてみた～

はじめて魚のさばき方を、
講師に教えてもらいました！
アジをさばいた感想も添えて～



山田池公園梅林散策

【資料1】



散策中に見かけた野鳥

たちです。



メジロ

3月上旬に山田池公園の梅林散策に行ってきました。
当日の開花状況は8割前後、天気は曇りで満開と快晴での撮影が
出来ずに残念でしたが、普段鉄道やバスしか撮影していない
ので、植物を撮影するのは新鮮でした。

アオサギ



マガモ



策散策



桜の花を見に、散歩もかねて花見を。
水面回路に咲く桜の花はどれも満開で、そして天気も良く、絶好の桜日和でした。
きれいに咲く桜や風にあふく花びらを見ながら、ゆったりと歩くと時がとてもしずかしくて、いい時間
が過ごせました。
今回桜散策に参加したこと、花を見て楽しむことは心と体にとつていい刺激になるなあ”と実感し
た日になりました。
またぜひ次回も桜散策があるのなら、参加したいなと思います。

使用機材:iphone

ピックアップに最適！アジフライ弁当



アジを捌くところから簡単に
出来ます。これを読んだおかげで彼女が出来ました！

材料 (8人分)

材料 (8人分)

アジフライ

アシ 4尾

◆小麦粉

◆ 卯

◆ 八、九、十

◆ 八ノ初

ほうれん草のお浸し

ほうねん草 3袋

山田 十子

不

卵燒志

卵 不眠

平山

作り方

鯨のようなゼイゴが付いている魚は面倒そう敬遠したたので勉強になりました。手を切ることを避けるために表ではなく裏な板側のゼイゴを削ぐことに驚くと共に見えないので難しそうだと思いましたが、ゼイゴ部分を強く裏な板に押しつけながら包丁を上下に動かして尻尾から頭側に滑らせるると意外と簡単にゼイゴが取れました。



ご飯、卵焼き、ほうれん草のお浸しと一緒にアジフライをパックに急いで詰め、皆で淀川の河川敷へピクニックに行きました。晴れてて助かりました。アジフライは塩胡椒すらしていないのですが、美味しかったです。タルタルソースが欲しくなりました。

うわっ……私の年収、低すぎ……

2

その後は頭を落として三枚におろしましたが、その辺りで調理室の残り時間が少ないことを知りました。アジフライをすす予定で油の準備もしていたのに残り時間は30分くらいしかなかったので、急遽外で食べることをごころに決まりました。それでも油の後片付けを考えたが間に合わぬやうな思っていました。きつと間に合いました。



後日、近所の魚屋が開店した後にできた新しい魚屋で丸魚の調理をどこまでやってもらえるか聞くと、三枚おろしまで無料でやってくれました。ひらばの料理イベントを通して自分で魚を卸せるようになった事に嬉しく思いましたが、やる機会はないようです。



活動報告

スゴロクパーティー

ゲームのルール・流れ

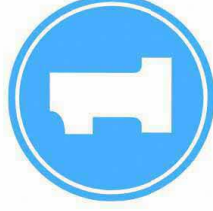
このスゴロクは、1つのコマを全員で進めるという点が醍醐味です。

イベントなどが発生するマスに止まると、基本的には直前にサイコロを振った人がそのイベントを受けます。

途中、イベントの一つでミニゲームが発生すること。
ルールで決められたトランプゲームで競い、順位に応じて点数がもらえます。
(場合によっては減点も)

終盤になるとどんでん返しが起こりやすくなり、暫定1位でも油断できません。
イベントの種類は多数。
制作者自身も予想できないゲーム展開になることも・・・

コマがゴールに到達するといよいよ最後のミニゲーム。(ゴールした瞬間はまだ終わりではありません)
その後表彰式を行い、最終的に点数を一番多く持っていた人が優勝です。



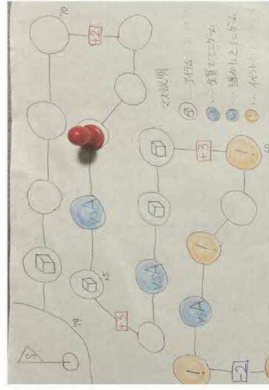
↑イベントルーレットは、
スマホで作成したものを使用。

企画を終えて

1月某日、自作のスゴロクで皆さんに遊んでいただきました。
自作といっても根本はマリオ○ーティーのシステムを引用し、
そこからイベントやミニゲームをアレンジしたものなので
自作と言えるのかは微妙ですが・・・
スゴロクの製作者である私は今回進行役に回りましたが、
イベントごとに皆さんがあらゆる反応をしてくださって
自分もとても楽しめました！
何回か1人でテストプレイした甲斐があったなあ・・・笑
今後も気まぐれでステージ・イベント・ミニゲーム等追加予定です。

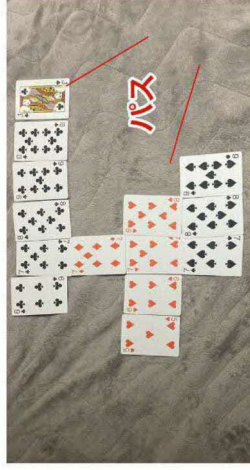


1 このように1つのコマを
みんなに進めていきます。



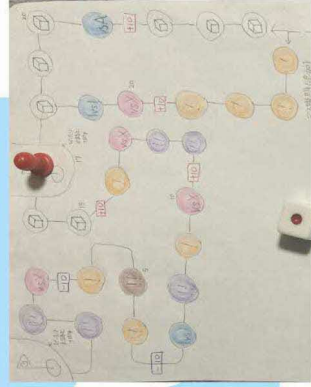
2

ミニゲームで行うトランプゲームは、
定番のゲームから自作のゲーム
計25種類以上が登場！



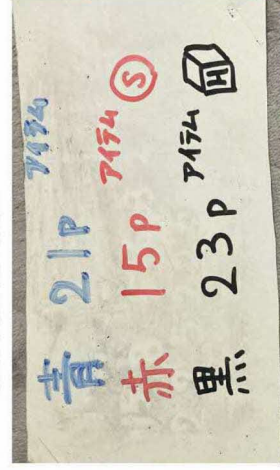
3

チェックポイントにちょうど
止まるとボーナス得点など、
逆転の要素がいっぱい。



4

全員の点数は、ゴールするまで
ホワイトボードで確認できるので、
駆け引きも重要に



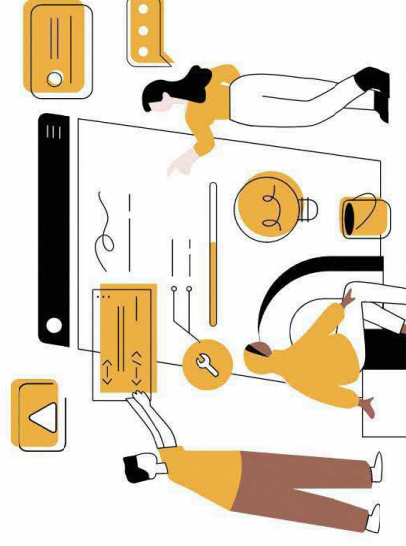
次回の特集

傘立て完成への道のり

ついに、傘立てが完成！！

約二年ほどかけて作り上げた手作りの傘立て。
制作の工程や苦勞、出来た喜びや感想をお届け。

次回のひらぼうをお楽しみに！



発行元・お問い合わせ先

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子どもの育ち見守り室（となどな内））

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

当センターでは、相談・居場所「ひらぼう」・家族の会を行っています。

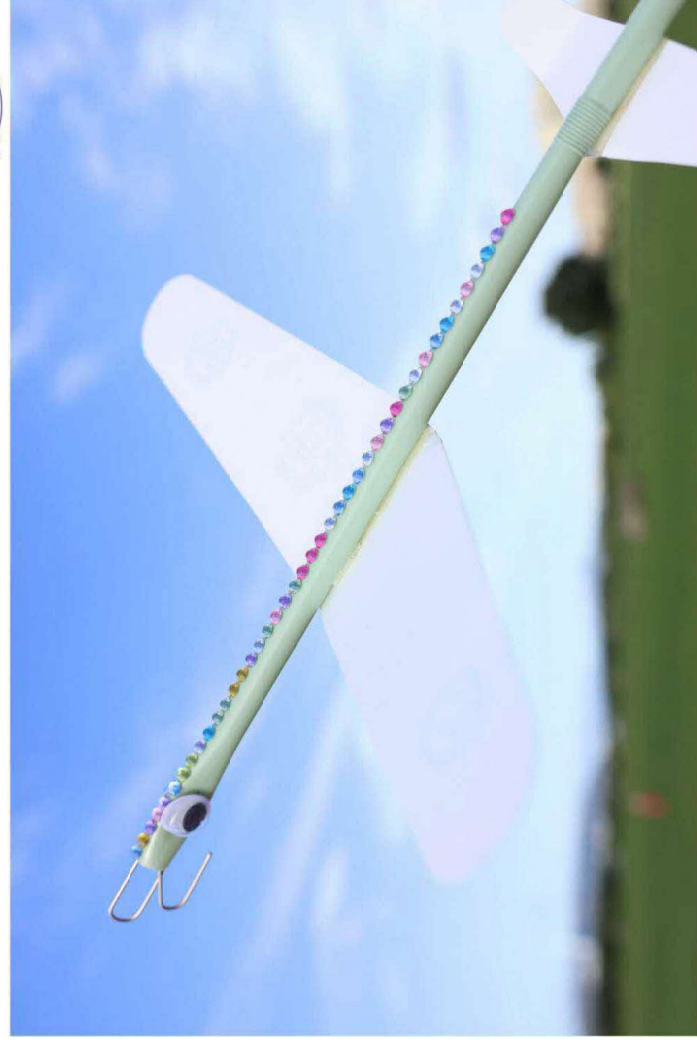
2022年 秋号
ひらぽう
第42報

FREE



With / 山田池公園 紫陽花散策 & 花火
2年越し... 傘立て作成報告
実習生コラム 飛び立ちたい話

the Arrival of Autumn 秋の訪れ



特集：夏開催したイベント集！

紫陽花散策 & 花火
山田池公園の紫陽花と、
夏の花火を
綺麗な写真でお届け！

傘立て作成報告
完成まで実に2年...
刮目せよ！
この圧倒的クオリティ！

実習生コラム
半年間の実習のはてに
いかにして実習生は
飛行機をとばしたのか...

活動報告

山田池公園紫陽花散策



今回は6月24日に山田池公園の紫陽花を見に行きました。今年の梅雨は雨が少なく期間も短かったこともあり、当日の天気は晴れ、気温も34度まで上がり猛暑日の中での紫陽花散策となりました。
また、撮影するものとしては真夏の気候の中で6月のイメージがある紫陽花を撮影するのは、難しいと感じました。
具体的には花に当たる太陽光が強すぎて白っぽくなったり、影が出すぎたりして悪い通りにはいかなかったです。とはいえ、太陽が雲に入った間や木々の影での撮影で何とか理想に近い撮影ができて良かったです。

活動報告（番外編）
8月に花火をしました

7月上旬に意見が出た花火企画、今回は企画・実行を利用者のみでひらぽうの企画で行うことになり、企画の具体化や準備を最後までやり遂げることができたか不安もありましたが、お互いに意見を出し合い、楽しく良いものになりましたと思います。



使用機材・ボディ：Canon EOS KissX7i レンズ：EF-S18-55mmF3.5-5.6 IS STM・EF-S55-250mm F4+5.6 IS STM
撮影者：tomoka710



【感想文①】今年の梅雨前に無事完成した傘立てを最初に作ると聞いてから完成するまでの約2年間、紆余曲折ありましたが、デザインから材料の選択、組み立て、色塗りで、色塗りで、すんなり皆の意見が合うこともあれば、それぞれの性格やこだわりにより誰かが譲歩した所もたくさんあったと思います。

僕自身今まで物を作る時は自分の考えを100%通すために一人きりで作ることがほとんどでした。つまりこういった他者との擦り合わせやコミュニケーション、時にはちょっとした衝突といったメンダクサイことを選んできたのです。そしてようやく完成した傘立ては決して僕一人では思いつきもしないであろう大作でした。

一人で自分の欲しい物を作った時程の達成感は無かったのですが、そこには完成するまでの楽しかったことやメンダクサイことなど全ての物語りが纏り込まれた傘立てが出来上がっていました。もちろん制作に関わっていない人達から見ればただの手作りの傘立てでなのですが、僕にとっては思い出しの詰まった特別な作品です。この傘立てを使う機会がある人は是非遠慮せずポロポロになるまで使い倒して頂けると嬉しい限りです。

<https://hirapo.sekininwo-toritakunaino.com>

【ひらぽ】今まで傘立てが無かったので作ってみた【公式】

【感想文②】途中から傘立ての製作に参加しました。おそらく2021年の8月くらいからです。僕が参加した時には長方形の板4枚を組み合わせるためにどのようにビスや字金具で固定するか、板の形をどうするかなどが話し合われていました。板の形は割と早く決まったと思います。箱という形は決まっていたので、傘立ての前面の板を話し合いに少し時間が掛かったくらいです。決まったらノコギリで板を切り、次の回ではベースの色を塗りました。

傘立てに描く絵のデザインで時間がかかりました。ステンシルで絵を付けるという話だったので、複雑な絵は切り抜けないし、そもそも絵は描けない。個人的に、アイデアを出したらそのステンシルを作らないといけないと思ったので、面倒で意見を出すのを躊躇してしました。一応、単純に傘の絵を描いたらどうか、箱型の傘立てなので水槽みたいに水が溜まる風に下半分の青みを濃くしたらどうかのアイデアはありましたが、1,2回休んでる間にデザインは決まってきました。安堵と同時に押しつけたよう若干の後ろめたさ。

ステンシルができれば何回かニス塗り、インパクトドライバでビス打ちと字金具での補強をしてついに完成しました。6月に間に合ってたです。もししたら初見で傘立てと気づかないかも知れませんが、となりの入り口で謎のデカイ箱を見かけたら、それはゴミ箱ではなく傘立てです。是非使ってください。【ペンネーム：E】



実習生コラム

飛び立ちたい話

WANTED



Eat or Not

食べられなかったパフェ

Cal 3,000k

はじめまして！5月から実習生としてひらぼに参加している、おしえ亭おじいさんです。よろしくお願ひします。これを記している現在、晩夏も過ぎ、つい少し前まで雛鳥だった渡鳥たちが次々巣立っていく様子が見られます。鳥が空を自由に漂うさまを見ると、「飛ぶ」ということに憧れを抱かれたことはないでしょうか。私はあります。

人にとって「跳ぶ」とは異なり、「飛ぶ」ということは、身体感覚としては捉えられない、非現実的なものだと思います。人に聞かれることで飛ぶものといえはなんでしょうか。たとえば「首が飛ぶ」であったり、「記憶が飛ぶ」だったり、それから「意識が飛ぶ」などが思い浮かびます。これらはどれも、外部からの思いがけない強烈な衝撃を受けることを示しています。人が自らの意思で飛ぶことは難しいようです。

しかしながら、人はたくさんものを「飛ばす」ことはできます。鼻糞や野次などといったくだらないものも飛ばせませんが、特筆すべきは「心」です。心は祖国に飛んでいる…なんて言いますように、これはどこどころへも瞬時に飛ばすことができます。それだけにとどまらず、遠い昔や、これから待ち受ける未来といったふうに、心は時間すら超越して自由に漂うことができます。みなさんはどこに心を飛ばすことを連想したでしょうか。…吹けば飛ぶようなお話はこれまでにしておきます。

さて、ひらぼでは最近、Healthy & Beautyを掲げてヨガに取り組んでいます。おしやれでしょう！ヨガでは意識を内側に、「いまここ」に向けることが大事だと言われているようです。さきほどの心を飛ばすということとはまさに対照的ですね。使い古された表現では「no where（どこにもいられない）」から「now here（いまここにいる）」へ、なんてことも言いますが、このときにごめく“w”はまさに曲者です。「withdrawal（引きこもり）」か、「work（仕事）」のことか、それとももっと根源的な「weakness（弱さ）」のことなのか…。それを受け入れて、そのうえでいったん捨て置き、いまここにいるありのままの自分を感ぜられると、それはもしかしたら飛ぶより素敵かもしれないですね。

この冊子は…

「枚方市ひきこもり等子ども若者相談支援センター」の発行する「読み物」です。主に居場所支援事業「ひらぼ」の活動内容の紹介や、参加者の自由な表現の場として作成しています。紙面の作成はひらぼ利用者が行っており、編集、記事執筆、紙面デザインを担当してもらっています。ひらぼの活動や、利用者さんの普段の生活など、興味深い情報が満載です。お楽しみください。



発行元・お問い合わせ先

枚方市 子どもの育ち見守り室（ととな）

ひきこもり等子ども若者相談支援センター

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

当センターでは、相談・居場所「ひらぼ」・家族の会を行っています。

ととなHP

枚方市 ひこくん



一ひとひひとが自分らしくー 子ども・若者支援のための市民講座

『ひきこもりを経験した若者の声』

講 師： 特定非営利活動法人青少年自立支援施設

淡路プラッツのみなさん

インタビュアー： 浅井 紀久子 さん

ひきこもりや不登校等の若者の自立のための支援にとりくむ特定非営利活動法人青少年自立支援施設 淡路プラッツのみなさんを迎え、経験者である若者ご本人より、これまでの体験やその時感じていたことなど、貴重なお話をインタビュー形式にて聴かせていただきます。

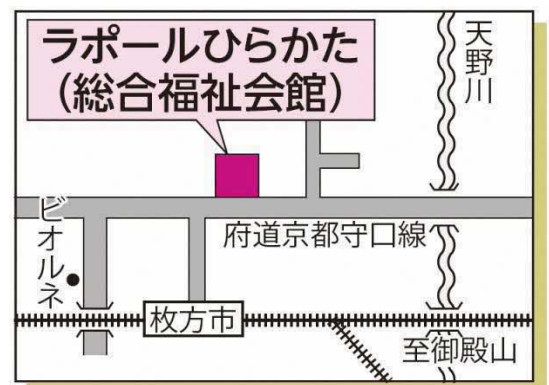
会場開催

12月2日（金）14:00～16:00

ラポールひらかた 4階 大研修室

定員先着 50 名

※新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施し開催します。マスクの着用、手洗い、手指の消毒、発熱などの症状がないかの確認等、ご協力をお願い致します。



枚方市新町2丁目1番 35 号

動画配信

12月16日（金）10:00～1月16日（月）17:00

お申込み後、12月14日（水）以降閲覧用 URL を送付します。

お申込み方法は裏面

【申し込み】

☆11月1日(火)10:00~12月2日(金)まで



会場開催

電話・ファックス・電子メール・専用フォーム・来所にて。
下記、子ども相談課まで。



申し込み専用フォーム

講座名、氏名、連絡先電話番号または電子メールアドレスを明記。

※手話通訳をご希望の方は、講座の2週間前までにお申し込みください。

動画配信

電子メール・専用フォームにて。下記、子ども相談課まで。

講座名、メールアドレス、動画配信希望と明記。

※12月14日(水)以降、動画視聴に必要なURLをメールで送信します。

※枚方市公式YouTubeチャンネルにて公開します(お申込みいただいた方のみご視聴いただけます)。

※動画視聴にかかる通信料等は、視聴される方の負担となります。

※本講座の録画、録音、撮影、および動画データの複写と2次利用は固くお断りします。

【事前に質問を募ります】

講師にご質問や聞いてみたいことがありましたら、11月18日(金)までに下記、子どもの育ち見守り室
子ども相談課までお寄せください。講師に選んでいただき、講演の中に盛り込んでいく予定です。

☆子ども・若者支援のための市民講座☆

枚方市では、「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」にて、ひきこもり等のご本人・ご家族からの相談をお受けしています。

ひきこもりや不登校等のさまざまな生きづらさを感じている子ども・若者の現状と自立に向けた取り組みについて、市民の皆様により知っていただく機会として、市民講座を開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。



枚方市 子どもの育ち見守り室子ども相談課

(ひきこもり等子ども・若者相談支援センター)

枚方市岡東町12-3-410 サンプラザ3号館4階

TEL: 050-7102-3228 / FAX: 072-846-7952

E-Mail: kodomosoudan@city.hirakata.osaka.jp

子ども・若者支援のための



市民講座ホームページ

対話のルール

2部の対話交流セッション参加の際は、誰もが気持ちよく参加できるよう、以下のことに留意してください。

- ① 聞いた話は外で話さない、SNS等で発信しない
- ② 相手の話を批判・否定しない
- ③ 誹謗中傷、暴力行為は禁止
- ④ 話す時間を独り占めしない
- ⑤ 聴いているだけでもOK
- ⑥ 営業活動、政治活動、宗教団体などへの勧誘はご遠慮ください

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

イベントの開催にあたり、会場設営や運営において適切な感染予防および感染防止対策を実施します。
取り組みへのご理解とご協力をお願いします。



受付で体温測定を実施します。37.5度以上(または平熱比1度以上)の発熱が認められた方は参加をご遠慮いただきます。



受付時や参加中はこまめな手指消毒や手洗いをお願いします。



会話の際はマスクの着用をお願いします。お持ちでない場合、参加をお断りする場合があります。



大きな声を出すことはご遠慮ください。



感染発生時の追跡を可能とするため、当日受付にて、氏名・メールアドレスまたは電話番号の届け出にご協力をお願いします。ご協力いただけない場合、ご参加いただけませんので、あらかじめご了承ください。お預かりした個人情報、イベントの円滑な遂行と新型コロナウイルス感染症発生時の対応のために使用し、それ以外の目的には使用しません。

以下に該当する方は、参加の自粛をお願いいたします。

- 体調不良の方(目安:37.5度以上の発熱や咳、のどの痛み等の風邪症状がある場合)
- 濃厚接触者と判定された方で、外出自粛期間を経過していない場合
- 同居家族や身近な知人に感染者、濃厚接触や感染が疑われる方がいる場合
- 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航又は当該国、地域などの在住者との濃厚接触がある場合

※新型コロナウイルス感染症の状況や、予期せぬ自然災害の発生等によって開催を延期または中止する場合があります。

本イベントには取材が入る可能性があります

このような取り組みや現状を広く知っていただくため、新聞やテレビ等の取材を受け入れる場合があります。その場合は参加者の方々のプライバシーと安心・安全の維持に最大限配慮します。

※開催の延期や・中止・取材等については、開催前日までにひきこもりUX会議オフィシャルサイトや各SNS(下記参照)にてお知らせいたします。

● 問い合わせ先 ●

ひきこもり
UX会議



- ✉ info@uxkaigi.jp <https://uxkaigi.jp/>
- 📺 <https://twitter.com/uxkaigi>
- 📄 <https://www.facebook.com/uxkaigi>

【主催】一般社団法人ひきこもりUX会議

不登校、ひきこもり、発達障がい、性的マイノリティの当事者・経験者らによって発足。当事者の視点から「生存戦略」の提案・発信を続けるクリエイティブチーム。

【枚方会場に関して】

枚方市 子ども未来部

子どもの育ち見守り室・となとな 子ども相談課

TEL: 050-7102-3228

[月～金/9:00～17:30(土日祝休み)]

【泉佐野会場に関して】

泉佐野市 健康福祉部 地域共生推進課

TEL: 072-463-1212

[月～金/8:45～17:15(土日祝休み)]

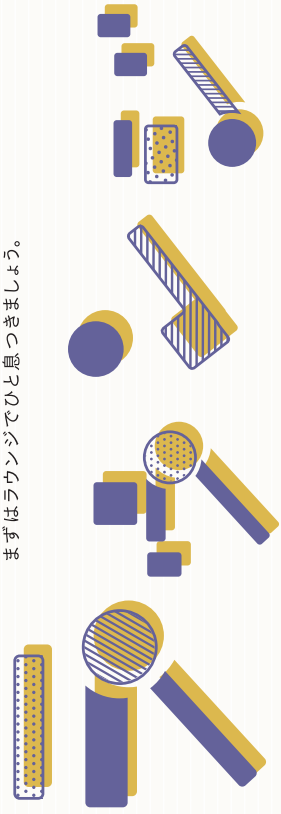
ひきこもり体験談を聞き、
対話交流をするイベントです。

枚方

2023年

7/18 水
13:30-16:30

どこかへ飛び立とうとする前には、
まずはラウンジでひと息つきましょう。



泉佐野

2023年

7/19 木
13:30-16:30

in 枚方 & 泉佐野

「ひきこもり」を取り巻く状況は、思うようにいかないと感じているかもしれません。

とはいえ、むずかしい顔をして向き合うばかりでは、不安や深刻さが際立ってしまったり、ポジティブなイメージや新しいアイデアが浮かびにくいものです。

私たちひきこもりUX会議は、安心でき、それぞれが肯定される場づくりを大切にしてきました。これまでも共感でつながる関係が生まれ、あかるい展望がひらけるひとが出てきています。

今回、「ひきこもり」の当事者同士、ご家族同士、支援関係者同士がまずはリラックスして出会い、対話や交流をはじめするための「ひきこもりUXラウンジ」を実施します。お気軽にお越しください。

※ラウンジ Lounge = 休憩室、談話室、空港の待合室など

枚方会場

枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた (大阪府枚方市新町 2-1-35)
京阪「枚方市駅」北口から徒歩3分

泉佐野会場

泉佐野市立文化会館 (エブノ泉の森ホール) (大阪府泉佐野市市場東 1-2-1)
南海本線「泉佐野駅」から徒歩20分、JR阪和線「熊取駅」・「日根野駅」から徒歩25分

主催 | 一般社団法人ひきこもりUX会議

共催 | 大阪府、枚方市、泉佐野市、泉佐野市社会福祉協議会

後援 | 東大阪市

協力 | 貝塚市社会福祉協議会、泉南市人権協会、ここサボ泉南、阪南市社会福祉協議会、田尻町社会福祉協議会



※このイベントは「令和3年度(補正予算)独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業」の一環として実施します。

詳細は中面へ▶▶▶

イベント概要



日時

2023年1月18日 [水] 13:30-16:30 [開場 13:00]

会場

枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた
(大阪府枚方市新町 2-1-35) 京阪「枚方市駅」北口から徒歩 3分

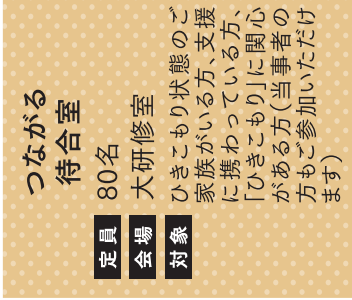
参加費

無料・予約不要
※途中参加・途中退出ご自由に
※気軽ににご参加いただくために予約不要としています。会場が定める定員に達し次第、入場を制限する場合があります。予めご了承ください。



タイムテーブル

※イベントごとに会場、参加条件が異なります。【会場】【対象】をご確認のうえ、ご参加ください。
※写真はイメージです。

1部	13:30 14:15	①オープニング「ひきこもりUXラウンジへようこそ」 ②ひきこもり経験者による体験談（インタビュー形式） 定員 80名(先着順) 会場 大研修室 対象 立場に関わらずなど誰でも		休 憩		非 交 流 ス ペ ー ス 会場 研修室 3
14:15 - 14:30						
		対話交流セッション 小グループに分かれて対話交流を行います。 ※会場ごとに参加条件が異なります。【対象】をご確認のうえ、ご参加ください。				
2部	14:30 16:15	ひきこもりUX当事者会 定員 25名 会場 研修室 1 対象 ひきこもり・生きづらさ等の当事者・経験者		ひきこもりUX女子会 定員 20名 会場 研修室 2 対象 女性(自認含む)の方でひきこもり・生きづらさ等の当事者・経験者	つながる待合室 定員 80名 会場 大研修室 対象 ひきこもり状態のご家族がいる方、支援に携わっている方、「ひきこもり」に関心がある方(当事者の方もご参加いただけます)	
16:15 16:30		クロージング 定員 80名 会場 大研修室 対象 立場に関わらずなど誰でも				

※時間は目安です。当日、内容に変更がある場合があります。 ※2部は途中休憩を挟みながら行います。休憩時に他会場への移動も可能です。

1部体験談スピーカー

恩田 夏絵 | 小2から不登校。その後、ひきこもり・リストカットを経験。2010年、ヒトの多様性を学ぶ洋上フリースクール『ピースポート・グローバルスクール』を開設。

1部体験談聞き手

川初 真吾 | 一般社団法人COYOTE代表。2012年ソーシャルビジネスグランプリ受賞。元コピーライター・現校正・校閲者。ひきこもりの第2人。ADHD診断済。

こんなことを行います

ひきこもりUX当事者会
ひきこもりUX女子会

テーマごとに少人数のグループ分かれ交流します。当日、テーマを持ち込むことも可能です。
テーマ例…親子 / メンタルヘルス / 自立 / 自由に夢を語る / コミュ障 / ゲーム、アニメ / 身体の不調 / 主婦 / おひとりさま / 年別別トークなど

つながる
待合室

集まった方同士で自由に話す交流の場です。
自己紹介の後、情報交換や語り合いの場をつくります。

非 交 流
スペース

疲れたり、静かにすごしたいとき、気分が悪くなったりしたときはこちらをご利用ください。
【おねがい】非交流スペースでは私語は原則禁止です。お喋りや、誰かに話しかけることはご遠慮ください。

イベント概要



日時

2023年1月19日 [木] 13:30-16:30 [開場 13:00]

会場

泉佐野市立文化会館（エブノ泉の森ホール）
(大阪府泉佐野市市場東 1-2-1) 南海本線「泉佐野駅」から徒歩 20分、JR 阪和線「熊取駅」・「日根野駅」から徒歩 25分

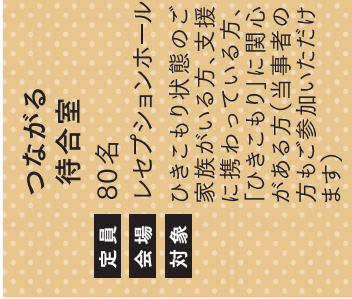
参加費

無料・予約不要
※途中参加・途中退出ご自由に
※気軽ににご参加いただくために予約不要としています。会場が定める定員に達し次第、入場を制限する場合があります。予めご了承ください。



タイムテーブル

※イベントごとに会場、参加条件が異なります。【会場】【対象】をご確認のうえ、ご参加ください。
※写真はイメージです。

1部	13:30 14:15	①オープニング「ひきこもりUXラウンジへようこそ」 ②ひきこもり経験者による体験談 定員 80名(先着順) 会場 レセプションホール 対象 立場に関わらずなど誰でも		休 憩		非 交 流 ス ペ ー ス 会場 会議室 (中)
14:15 - 14:30						
		対話交流セッション 小グループに分かれて対話交流を行います。 ※会場ごとに参加条件が異なります。【対象】をご確認のうえ、ご参加ください。				
2部	14:30 16:15	ひきこもりUX当事者会 定員 30名 会場 和室 対象 ひきこもり・生きづらさ等の当事者・経験者		ひきこもりUX女子会 定員 30名 会場 会議室 (大) 対象 女性(自認含む)の方でひきこもり・生きづらさ等の当事者・経験者	つながる待合室 定員 80名 会場 レセプションホール 対象 ひきこもり状態のご家族がいる方、支援に携わっている方、「ひきこもり」に関心がある方(当事者の方もご参加いただけます)	
16:15 16:30		クロージング 定員 80名 会場 レセプションホール 対象 立場に関わらずなど誰でも				

※時間は目安です。当日、内容に変更がある場合があります。 ※2部は途中休憩を挟みながら行います。休憩時に他会場への移動も可能です。

1部体験談スピーカー

石崎 森人 | 幼い時から生きづらさを抱え、20代で2年半ほどひきこもる。生きづらさやひきこもりを脱した経験を活かし、執筆や講演などを行っている。「ひきぽす」編集長。

2022
年度版

ひまこもりなどの
生きづらさを抱えた方と
そのご家族のための情報集

地域資源 ブックマーク

大阪・北河内エリア版

安心できる居場所がほしい、
共鳴し合えるひとに会いたい、
親身に話を聴いてほしい、自分らしくはたらきたい…。

抱えきれない思いを持ち寄れる場所、
力になってくれる窓口や専門機関、
そんな、大阪・北河内エリアの「地域資源」をあつめました。

ブックマーク
しおりを本に挟んでおくみたいに、
ぜひお手もとに、また心に留めておいてください。

【資料 5】

枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱

制定	平成 30 年 3 月 30 日枚方市要綱第 28 号
最終改正	令和 4 年 11 月 25 日枚方市要綱第 63 号

（設置）

第 1 条 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援するため、子ども・若者育成支援推進法（平成21年法律第71号。以下「法」という。）第19条第 1 項に規定する子ども・若者支援地域協議会として、枚方市子ども・若者支援地域協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（所管事項）

第 2 条 協議会の所管事項（以下「所管事項」という。）は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る情報交換及び連絡調整を行うこと。
- (2) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に必要な体制の整備についての検討を行うこと。
- (3) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の具体的支援の内容についての協議を行うこと。
- (4) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る調査研究、研修並びに広報及び啓発活動を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

（構成）

第 3 条 協議会は、次に掲げる機関等に属する者で構成する。

- (1) 別に定める枚方市の機関
- (2) 枚方公共職業安定所
- (3) 大阪府中央子ども家庭センター
- (4) 大阪府枚方警察署
- (5) 大阪府交野警察署
- (6) 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
- (7) 一般社団法人枚方市医師会
- (8) 枚方市民生委員児童委員協議会
- (9) 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
- (10) 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会
- (11) 枚方・交野地区保護司会
- (12) 枚方市青少年育成指導員連絡協議会
- (13) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める機関等

（子ども・若者支援調整機関）

第4条 法第21条第1項に規定する子ども・若者支援調整機関は、前条第1号に掲げる機関等のうちから市長が指定する。

(守秘義務)

第5条 協議会を構成する者及び構成していた者は、正当な理由なしに、当該会議（所管事項の遂行に伴う活動を含む。）を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この要綱は、制定の日から施行する。

2 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議設置要綱（平成24年枚方市要綱第64号）は、廃止する。

附 則〔令和2年6月30日枚方市要綱第54号〕

この要綱は、制定の日から施行する。

附 則〔令和3年7月19日枚方市要綱第51号〕

この要綱は、制定の日から施行する。

附 則〔令和4年11月25日枚方市要綱第63号〕

この要綱は、制定の日から施行する。



枚方市におけるひきこもり等の子ども・若者支援について
令和４年度の活動報告

令和５年９月発行

枚方市 子どもの育ち見守り室 **となとな**

子ども相談課

枚方市岡東町１２－３－４１０サンプラザ３号館４階

TEL：０５０－７１０２－３２２８（直通）

FAX：０７２－８４６－７９５２

e-mail：kodomosoudan@city.hirakata.osaka.jp

